

『活力創生釧路市集中改革プラン』 による行財政改革の取り組みについて

【問合せ先】
市役所財政健全化推進室
(☎31-4592)

【表1】活力創生釧路市集中改革プランによる平成22年度行財政改革効果額 (単位：千円)

区分	平成22年度効果額	主な内容	
事務事業の見直し等	330,863 (400,360)	事務事業等の見直し	16,836 (60,754)
		内部管理経費等の見直し	314,027 (339,606)
定数・給与等の見直し	452,658 (639,904)	定数の見直し△42人(△56人)	79,133 (101,933)
		給与等の見直し	373,525 (537,971)
		・給与独自削減	326,632 (475,439)
		・特別職給与削減	9,399 (10,539)
		・管理職手当独自削減	36,583 (50,719)
		・寒冷地手当の改正	911 (1,274)
合計	783,521 (1,040,264)		

※効果額は一般会計ベースで、()内は全会計ベース。

平成19年度以降に、一般会計ベースで毎年50億円程度も生じると試算された財源不足の解消を図るために策定した『活力創生釧路市集中改革プラン』(平成18年9月策定。計画期間は平成18～22年度)による行財政改革の取り組みについてお知らせします。

平成22年度行財政改革の 取り組み結果

平成22年度に向けた行財政改革では、職員給与の独自削減の継続のほか、内部管理経費の削減や、職員定数の見直し等を最優先に取り組みました。また、市民の皆様や各種団体のご理解ご協力をいただきながら、事務事業の見直しなどを実施させていただき、その結果、上記【表1】のとおり一般会計での効果額(節減額)は、約7億8,400万円(全会計では、約10億4,000万円)となりました。

平成22年度行財政改革の 内容と効果額

事務事業の見直し等では、一般会計で約3億3,100万円(全会計で約4億円)の効果額となりました。職員の定数・給与等の見直しでは、一般会計で約4億5,300万円(全会計で約6億4,000万円)の効果額となり、そのうち、職員定数の見直しでは、一般会計で差し引き42人の減員(全会計で差し引き56人の減員)となり、効果額は、一般会計で約7,900万円(全会計で約1億2,000万円)となりました。職員給与等の見直しでは、平成19年度から継続している給与独自削減(一般会計で約3億2,700万円、全会計で約4億7,500万円)の効果額をはじめ、一般会計で約3億7,400万円(全会計で約5億3,800万円)の効果額となりました。

集中改革プランの計画期間内の 取り組み結果

『活力創生釧路市集中改革プラン』の計画期間内における行財政改革の取り組みによる効果額【表2】と職員定数の減員実績【表3】は、左表のとおりとなりました。

【表2】集中改革プランの計画期間内の行財政改革効果額 (単位：千円)

区分	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	合計
事務事業の見直し等	1,405,968	649,646	481,887	330,863	2,868,364
総人件費の抑制	749,188	802,786	518,177	373,525	2,443,676
職員定数の見直し	195,526	100,129	161,668	79,133	536,456
その他の見直し	623,709	45,992	0	0	669,701
計	2,974,391	1,598,553	1,161,732	783,521	6,518,197

※数値は、活力創生釧路市集中改革プラン(一般会計ベース)による効果額。

※合計額は、単年度ごとの効果額を単に合算したものです。

【表3】集中改革プランの計画期間内の職員定数の減員実績 (単位：人)

区分	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	合計
計画値	38	80	70	70	50	308
(計画値累計)	(38)	(118)	(188)	(258)	(308)	-
実績値	38	74	74	71	51	308
(実績値累計)	(38)	(112)	(186)	(257)	(308)	-

※数値は、全部局分(全会計分)。

※計画値は、活力創生釧路市集中改革プランと合わせて策定した『釧路市定員適正化計画』による。

※実績値は、一過性の定数増減および市立釧路総合病院(病院事業会計)の医療体制の充実による定数増を除いた。

今後も、必要な市民サービスを引き続き提供していくために、行財政改革を着実に進め、「財政の健全化」と「簡素で効率的な市役所」の実現を目指してまいりますので、ご理解ご協力をお願いします。